

卒後2年目事例検討研修 ～実践につなげる事例検討～

9月26日(木)・27日(金)に、卒後2年目看護職員を対象に事例検討研修を実施しました。研修者の「心に残っている事例」や「忘れられない患者との場面」をもとに、患者理解を深め、事例の問題に対する看護の方策や課題を明らかにすることを目標にグループワークを行いました。研修者は、グループワークを通して、「患者の思いに耳を傾ける重要性を改めて感じた」、「様々な角度で考え、新たな視点が得られた」、「多職種との連携がより良い看護に繋がると感じた」、「患者・家族が主体の看護を実践したい」など、自分の看護観を振り返り、次の看護実践に繋げる課題や方策を見出すことができていました。



【グループワーク】

- ❖ 1人1人の事例について情報共有し、日々の看護を振り返りました。他部署の看護実践を共有することで、新たな視点や学びに繋がっていました。
- ❖ 患者・家族の背景や思いを理解することの大切さを再確認し、患者・家族とのコミュニケーションやチームでの情報共有の重要性を話し合っていました。
- ❖ 同期同士、同じような場面で悩んだり、困っている事を共有できる良い機会にもなっていました。とても活発な意見交換が行っていました。



【全体会】グループでまとめた内容を基に発表し、意見交換を行うことでさらに学びを深めていました。



♥ 新人教育に関して、何かご意見やご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。

看護職キャリア支援 教育担当